

総合計画審議会委員からの意見一覧

総合計画審議会委員からの意見一覧

資料4-1

通しNo.	資料3該当ページ	該当箇所	委員名	委員意見
1	P1	まちづくりの目標：生活	有賀	目標達成率を表示するのであれば、3年間の総括文章ということであるが、もう少し達成率に対する具体的な表現がほしいと感じる
2	P1	まちづくりの目標：全般	有賀	第6次の総括同様、終盤に今後の見通しや方向性に触れる必要はないか
3	P1	まちづくりの目標：全般	内山	総括として、達成に至らなかった点への分析もあるとよいと考えます。
4	P4～	重点：全般	渡辺（ち）	2030年の目標とそのKPIの達成に向けて、具体のアクションがどうつながるのか、その論理的な整合性や合理性が分かりにくいものが多いように感じます。 次期計画においては、ロジックモデルで整理をするなどによりその合理性を整理し、納得感を得られるものにしていただきたいと考えます。
5	P5	重点1：医療・福祉 (2) 地域共生社会の実現	有賀	昨年度の総計審意見で小田原市の「地域のケア力」の検討とあるが、目標達成率の評価にある認知度の向上・関心を持てるようにすることだけでは、ケア力の高い社会を目指すのは難しいと感じる。
6	P8,9	重点2：防災・減災	渡辺（ち）	KPIの数値が年々下がってきていることを疑問に思いますが、その後の具体のアクションを読んでも、KPIの数値の推移がなぜそうなっているのか等の分析が記載されていないため、この数値目標の推移をどう理解してよいのかわかりません。備考欄に記載するなど、評価を読む人にわかるようにしていただきたいです。
7	P11	重点3：教育・子育て (1) 質の高い学校教育	有賀	「新しい学校づくり推進基本計画」が当初の策定時期から1年程度遅れる見通しとなった経緯を教えてください。
8	P11	重点3：教育・子育て (1) 質の高い学校教育	内山	具体のアクション②について、ICT活用教育の充実がKPI指標あるいは「質の高い学校教育」にどのようにつながったかが目標達成率の評価に記載される必要があると考えます。具体的には、どのような教育活動なされたのか、先進事例（重点校や研究指定校）などを記載できると、ICT環境の整備による教育の充実度が伝わるのではないのでしょうか。
9	P11	重点3：教育・子育て (1) 質の高い学校教育	内山	第7次総合計画の実行計画に向けてKPIも改めて見直してもよいと考えます。社会力の育成に関連する指標とすることが考えられます。継続して、全国学力・学習状況調査の「将来の夢や目標を持っている」を使用する場合には、KPI名も「将来の夢や目標をもつ児童の割合」と記載していただきたいです。他に、「分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか」、「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思う」や、「授業や学校生活では、友達や周りの人の考えを大切に、お互いに協力しながら課題の解決に取り組んでいる」といった指標も使用できそうです。
10	P12	重点3：教育・子育て (2) 子ども・子育て支援	内山	ニーズ調査が5年ごとのため、施策の効果が確認しにくいように感じました。目標達成率の評価において、個別の事業などにおけるアンケート結果など、参照できる数値があれば記載していただくと良いのではないのでしょうか。
11	P26	重点7：まちづくり (1) 小田原駅・小田原城 周辺のまちづくり	有賀	「市民会館跡地等活用整備基本構想」を策定し、市民会館跡地でのオープントライアルの開始は、今後のまちなかにぎわい創出に寄与し、期待できるのではないかと。
12	P29	施策1：地域福祉・多様性の尊重 詳細施策2	有賀	民生委員児童委員の新たな担い手の育成については庁内関係各課と連携しながら進めていくとあるが、もう少し詳細な説明がほしい。 本格的な負担軽減・効率化をどう図っていくのか知りたい。

総合計画審議会委員からの意見一覧

資料4-1

通しNo.	資料3該当ページ	該当箇所	委員名	委員意見
13	P47	施策10：子ども・子育て支援 詳細施策1	内山	総合評価はCとなっていますが、今後の方向性が現状維持的な記載となっているため、目標達成のための新たな施策など具体的な手立てを講じていく必要があります。ファミリー・サポート・センターの支援会員数の増加も重要ですが、稼働率や利用者の満足度なども重要な指標と考えます。調査結果があれば記載していただくと思います。
14	P47	施策10：子ども・子育て支援 詳細施策1	渡辺（ち）	【3年間の総合評価】 支援会員数は、基準のR3(345人)から、更新を挟み大きく減少した後、微増ながらも横ばいのように思われます。ファミサポ大学など特徴的な取組みだとは思いますが、3年間の総合評価は継続的にCであり、根本的な見直しも必要ではないでしょうか。例えば支援会員の報酬が安すぎる(平塚市の半額)ことなども会員数が増えない要因になっている可能性がないか等、制度を根本的に見直す必要性などについても課題として挙げる必要があるように思われます。
15	P47	施策10：子ども・子育て支援 詳細施策2	内山	保留児童数、待機児童数が目標に到達していない背景に、保育士不足による受け入れ体制が確保できていないことがあると記載されており、第7次総合計画の実行計画では改善をはかるように取り組んでいただきたいです。
16	P48	施策10：子ども・子育て支援 詳細施策4	渡辺（ち）	【3年間の総合評価、今後の方向性】 R5においては周知方法の改善で参加者が増加した一方、R6は同様の周知を行ったはずなのに参加者が大きく減ったというのであれば、その周知方法の課題についても検討が必要に思われます。 R6における内容見直しで参加者満足が増大したのは評価すべきことだと思いますが、参加者が減ったことが、本評価においては、参加者満足やそもそも目標値が高すぎたことなどに置き換えられているように感じられます。単純に参加者が多ければいいというものではないのはおっしゃる通りと思いますが、事業効果を確保するには、一定の参加者数を増やす努力も引き続き必要だと思います。
17	P50	施策11：教育 詳細施策1	内山	総合評価がCとなっており、ステップアップ調査の結果を活用し、基礎学力の向上に期待する。それがあって、STEAM教育など創造性や社会力をはぐくむ教育がより成果をあげることができると思う。第7次総合計画の実行計画では、教員の学習指導、授業改善をどのように支援していくのか具体策も提示いただけるとよいと考えます。
18	P50	施策11：教育 詳細施策2	有賀	放課後児童クラブ室及び放課後子ども教室の場所の確保が課題となっているが、今年度放課後子ども教室に希望しても参加できない児童が見受けられた。毎年参加を楽しみにしている児童も多い中、先着順で切られてしまうのはどうか。
19	P50	施策11：教育 詳細施策2	内山	目標値に関する記述にあるように、地域とともにある学校づくりのKPIとして、「放課後児童クラブを楽しいと感じている児童の割合」と狭い指標の設定になっている点は見直しが必要と考えます。中心的な事業である学校運営協議会制度の状況や効果などについて調査し、目標値とすることも考えられます。
20	P50	施策11：教育 詳細施策2	内山	引き続き、放課後児童クラブ、放課後子ども教室事業のサービス向上は重要です。施設によりばらつきが大きいなどもよく聴かれることです。居住地等によって利用できる施設は限られるため、施設および指導員・支援員の確保とともにサービスの質の向上も推進していただきたいです。
21	P51	施策11：教育 詳細施策3	渡辺（ち）	総合評価において、相談件数が多い＝困難を抱える児童生徒が多い＝保護者の悩みも多い＝相談への対応が重要＝多くの相談を受けたことが評価に値する、とされています。これは原因と結果が循環しており、何を言いたいか理解が難しいように思います。悩みを抱える保護者が増えているのであれば、その相談の質や、悩みはあってもまだ相談できていない保護者をいかに相談・支援につなげるかといった目線での総括もしていただきたいと感じます。

総合計画審議会委員からの意見一覧

資料4-1

通しNo.	資料3該当ページ	該当箇所	委員名	委員意見
22	P66	施策18：文化・スポーツ・生涯学習 詳細施策5	有賀	キャンパスおだわら講座受講者数が目標値を大きく上回り、コロナ以前の水準まで回復していくことが見込まれる現状は大いに評価ができると感じる。受講者の年齢層がわかるとありがたい、若い世代の増加に期待したい。
23	P68	施策20：自然共生・環境保全 詳細施策2	渡辺（ち）	[②課題] によれば、本件施策では ・水生生物生息環境保護→水質維持 ・生物多様性→有害鳥獣捕獲 の2本の取組みをすることになっていますが、そのKPIが水質調査の数値では、取組みの全体を把握できないように感じます。また、このKPIは基準年以降すべて100%を達成されており、その維持が重要であることはわかりますが、取組みの進展を図るのに妥当かは疑問です。次期計画以降ではぜひKPIそのものを見直していただきたいです。
24	P70	施策21：資源循環・衛生美化 詳細施策2	渡辺（ち）	目標進捗状況のグラフについて 下限のメモリが23.5のため、R6が下限以下の状態です。その隣に目標達成率0%と表示されていることと相まって、パッと見た目で取組みがなされていないかのような印象を受けます。下限のメモリを23.0又は22.5などにしていただくと、R6も棒グラフが描けて見やすくなるように感じました。
25	P78	施策25：上下水道 詳細施策2	渡辺（ち）	令和7年1月埼玉県八潮市の道路陥没事故では、下水道の老朽化問題が関心を集めました。小田原市においても、老朽化対策がどうなっているかは、関心が高い分野と考えます。今後の取組として、財源確保が難しい状況においても、下水道の耐震化に加え老朽化対策も着実に実施されることが求められているものと思いますので、この点についても言及いただきたいと感じました。
26	P80	推進エンジン1：行政経営 詳細施策1	有賀	市民との情報共有について、情報発信よりも市民からの意見聴取が困難とされ、今後は個別での対応が必要となると、かなりハードルが高いと感じる。市からの一方的な発信に留まらず、市民の声を速やかに行政に届ける仕組みを機能させたい。
27	P83	推進エンジン2：公民連携・若者女性活躍 詳細施策2	内山	若者活躍についての施策が中心に記載されており、女性活躍に関する施策の記述が少ないと感じます。KPIに関する記述についても、若手交流会の実施件数が女性活躍の指標として適切といえるか少し疑問があります（若手交流会への参加は女性が多いといったことがあるのでしょうか）。通常、女性活躍のKPIとしては、女性の登用や参画に関する指標や、仕事と育児の両立にかかわる指標などが使用されるのが一般的と考えます。
28	P83	推進エンジン2：公民連携・若者女性活躍 詳細施策2	渡辺（ち）	本件は若者・女性活躍推進を掲げながら、KPIや具体的な取組みは若者の活躍機会の創出に関わるものです。目標値の設定としては適切ではないと感じる一方、昨年評価でも意見を出した通り、そもそも女性活躍と若者活躍はその目的や取り組む内容が異なるものであり、一括りにまとめることには合理性が認められないと考えますので、両者を包含するKPIも難しいものと考えます。 次期計画ではぜひ、若者と女性を一括りにする整理を改めていただきたいと考えます。
29	—	その他	有賀	重点施策における各具体アクションの評価、詳細施策における総合評価をふまえた目標値、課題、今後の方向性の明記により、事業の経緯やポイントが明確になり、今後の実行計画策定につながると感じる。